

活動期間（令和6年4月～令和7年3月）

環境経営レポート



発行日：令和7年4月24日

有限会社 藤武建設

目次

1.	組織の概要	P	1
2.	認証・登録の対象範囲	P	1
3.	環境経営方針	P	2
4.	環境経営目標	P	3
5.	環境経営活動計画及び実地体制	P	4.5
6.	環境経営目標の実績	P	6
7.	環境経営計画の取組結果とその評価、 並びに次年度の取組内容	P	7
8.	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並 びに違反、訴訟などの有無			
9.	代表者による全体評価と見直し・指示	P	8
10.	会社紹介			

1. 組織の概要

- (1) 名称 有限会社 藤武建設
- (2) 代表者 代表取締役 藤武 信介
- (3) 所在地 〒849-1204
佐賀県杵島郡白石町大字坂田 1069-3
- (4) 環境管理責任者 藤川 洋文
- 担当者 藤武 友絵
- 連絡先 TEL 0954-65-2174
FAX 0954-65-2951
E メールアドレス toutake@leaf.ocn.ne.jp
自社 HP <https://r.goope.jp/toutake>

(5)事業の規模

活動規模	売上高	従業員数	床面積	決算
令和6年度	78 百万円	6名	2,878 m ²	7月

2. 認証・登録

・事業活動

建設業（土木工事業、とび・土工工事業、水道施設工事業）
佐賀県知事 許可（般-29）第7236号

・対象事業所 本社 佐賀県杵島郡白石町大字坂田 1069-3

資材置場 佐賀県杵島郡白石町大字坂田 1484-1

当社は、組織・活動全てを通して対象範囲としています。

3. 環境経営方針

基本理念

有限会社 藤武建設は、建設業の活動を通じて、地球環境に配慮した調和・共生を目指し環境負荷削減への取り組みを重要課題として、全社員協力し持続可能性を追求するためのツールとして、**SDGs (エスディージーズ)** を取り入れ、継続的な改善を実施します。

行動指針

有限会社 藤武建設は、事業活動に伴う環境への負荷を削減するために、以下の事項を重点的に取り組みます。

- 1、 電力、燃料を削減して省エネに努め、二酸化炭素排出量を削減します。
- 2、 雨水の利用や節水を推進し、水使用量の削減に努めます。
- 3、 産業廃棄物のリサイクルを推進し、最終処分量を削減します。
- 4、 環境保全活動に積極的に参加します。
- 5、 環境に配慮した工事施工をします。
- 6、 この環境方針は、従業員全員に周知し、環境保全に対する意識のレベルアップを図り、広く一般へ公開します。
- 7、 当社の事業に関連する環境関連法規等を遵守します。
- 8、 環境経営の継続的な改善を実施します。
- 9、 SDGs を掲げた企業経営によって、**持続可能な企業へと発展**していきます。

制定日 平成 31年 3月 1日

改訂日 令和 4年 5月 19日

有限会社 藤武建設

代表取締役 藤武 信介

4. 環境経営目標

当社における環境経営目標(全社)は以下の通りです。

前年度の目標値から削減された数値を目標数値として示しています。

(年度は4月～翌年3月)

環境目標	事務所	単位	基準年度 令和4年度 R4.4～R5.3	中長期目標				
				令和5年度 (-1%削減) R5.4～R6.3	令和6年度 (-2%削減) R6.4～R7.3	令和7年度 (-3%削減) R7.4～R8.3	令和8年度 (-4%削減) R8.4～R9.3	
1	二酸化炭素排出量の削減	全体	kg-CO ₂	36,841	36,473	36,108	35,747	35,389
		事務所		8,120	8,039	7,958	7,879	7,800
		現場		25,714	25,457	25,202	24,950	24,701
	電力使用量の削減	全体	kWh	12,342	12,218	12,096	11,975	11,855
		事務所		12,342	12,218	12,096	11,975	11,855
		現場		-	-	-	-	-
灯油使用量の削減	全体	ℓ	599	593	587	582	576	
	事務所		599	593	587	582	576	
	現場		-	-	-	-	-	
ガソリン使用量の削減	全体	ℓ	2,983	2,953	2,923	2,894	2,865	
	事務所		745	738	730	723	716	
	現場		2,237	2,215	2,193	2,171	2,149	
軽油使用量の削減	全体	ℓ	7,535	7,459	7,385	7,311	7,238	
	事務所		19	19	19	18	18	
	現場		7,516	7,441	7,366	7,293	7,220	
2	廃棄物総排出量の削減	事務所 (一般廃棄物)	kg	127	125	124	123	121
		現場(産業廃棄物) 再資源化率	%	90	91	91	93	94
3	使用水量の削減	事務所		219	217	214	212	210
4	事務所・資材場周辺の掃除	実施回数		年6回	年6回	年6回	年6回	年6回
5	環境に配慮した施工 (重機車両のアイドリングストップ など)	達成率		87%	88%	89%	90%	91%

備考=()内%は、令和4年度実績をベースとして削減率または向上率を示します。

1. 購入電力の二酸化炭素排出係数は、令和4年度の九州電力の二酸化炭素実排出係数0.407kg-CO₂/kWhを使用しました。

2. 化学物質,LPGは使用していないため目標に取り上げない。

3. 灯油は冬場の3か月(12月、1月、2月、)使用

4. 廃棄物総排出量の削減の現場においては排出量の記載でなく再資源化率である。



5.環境経営活動計画

1、二酸化炭素排出量の削減

取組目標	担当	責任者	達成手段	スケジュール			担当者
				4月～7月	8月～11月	12月～3月	
1 電気使用量の削減	事務所	藤武	1 エアコンの温度設定	○	○	○	藤武
			2 不要照明の消灯	○	○	○	藤武
			3 PCの消し忘れなくす	○	○	○	藤武
	現場	藤川	1 建設設備機器は無駄や無理のない運転	○	○	○	竹下
			2 不要時には、負荷遮断、変圧器の遮断	○	○	○	竹下
			3 空調の最適化	○	○	○	竹下
2 ガソリン使用量の削減	事務所	藤武	1 定期的な車両整備の励行	○	○	○	藤武
	現場	藤川	4 効率的な運行ルートの設定	○	○	○	竹下
3 軽油使用量の削減	現場	藤川	1 建設機械のエコ運転実施	○	○	○	竹下
			2 運搬計画の見直し	○	○	○	竹下

2、廃棄物排出量

取組目標	担当	責任者	達成手段	スケジュール			担当者
				4月～7月	8月～11月	12月～3月	
1 一般廃棄物排出量の削減	事務所	藤武	1 紙使用量の削減	○	○	○	藤武
			2 ゴミの分別の徹底	○	○	○	藤武
			3 裏紙が活用できる紙は可能な限り利用	○	○	○	藤武
			4 ミスコピーを減らす	○	○	○	藤武
2 産業廃棄物	現場	藤川	1 生コンクリートやアスファルト・コンクリートなどの再資源化	○	○	○	竹下
			2 ゴミの分別の徹底	○	○	○	竹下

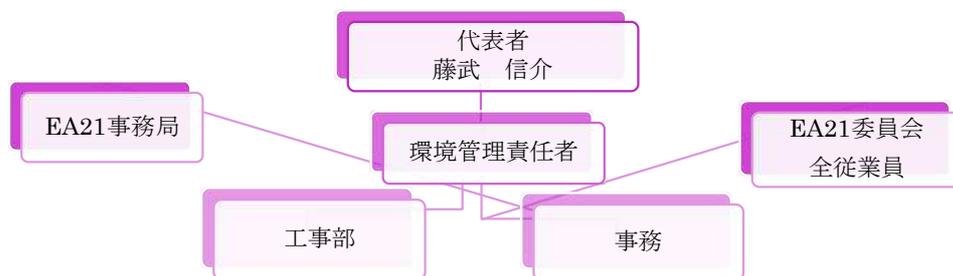
3、水使用量の削減

取組目標	担当	責任者	達成手段	スケジュール			担当者
				4月～7月	8月～11月	12月～3月	
1 水使用量の削減	事務所	藤武	1 出しっぱなしにせず、蛇口はこまめに閉める。	○	○	○	藤武
			2 節水ポスターの貼付	○	○	○	藤武
			3 漏水点検	○	○	○	藤武
2 水使用量の削減	現場	藤川	1 出しっぱなしにせず、蛇口はこまめに閉める。	○	○	○	竹下
			2 節水ポスターの貼付	○	○	○	竹下
			3 雨水の利用状況	○	○	○	竹下

4、環境に配慮した施工

取組目標	担当	責任者	達成手段	スケジュール			担当者
				4月～7月	8月～11月	12月～3月	
1 環境に配慮した施工	現場	藤川	1 騒音・振動の発生を極力防止する	○	○	○	竹下
			2 現場整理整頓・清掃、重機・車両使用における道路汚染	○	○	○	竹下
			3 工事現場・資材置き場周辺の住民とのコミュニケーション	○	○	○	竹下
			4 ボランティア活動の積極的参加	○	○	○	竹下

実施体制



	役割・責任・権限
代表者	全体統括、環境経営方針の策定、環境への取り組みを実施するための資源（人・設備・費用）の準備、全体の評価と見直し。環境文書の制改定責任者。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> EA21 ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行、環境実績を向上させる。 毎年環境経営目標、環境活動計画を作成する。 毎月1回環境目標の達成状況、実施状況を委員会、代表者に報告する。
EA21 委員会	<ul style="list-style-type: none"> 4か月に1回開催し、環境経営目標の達成状況及び環境活動計画の確認を行う 環境目標及び環境活動計画の結果確認 E A 21 の関する審議
E A 事務局	<ul style="list-style-type: none"> E A 21 責任者の補佐業務 環境文書及び記録の作成、管理し、データを経理と共有し二度手間を防ぐ。 その他E A 21 に関する業務
工事部 事務	<ul style="list-style-type: none"> 電力、水消費量の管理 建設現場の燃料(ガソリン、軽油)、廃棄物管理 車燃料(ガソリン、軽油)、灯油消費量、廃棄物管理
担当者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営活動の実施 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性の自覚 担当別の役割について認識し積極的に推進

企業活動とSDGsのつながり

SDGsが関係するのはグローバルな取組だけではありません。企業が行う事業そのものはもちろん、普段から取り組んでいる節電や節水、社員の福利厚生など、企業が行う行動すべてがSDGsとつながります。



環境省HPより引用

6. 環境経営目標の実績

当社における環境目標(全社)は以下の通りです。

前年度の目標値から削減された数値を目標数値として示しています。

活動期間(令和6年4月～令和7年3月)

環境目標	単位	令和4年度 基準年度 R4.4～R5.3	令和6年度 目標 (-2%削減) R6.4～R7.3	実績	達成率	結果	結果の評価	
1	二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)	全体	36,841	36,108	40,031	90%	△	事務所では目標達成につながったが、工事内容、天候不良などにより現場での軽油使用量が大幅に増え、達成とはいかなかった。
		事務所	8119.8	7,958	5,043	158%	◎	
		現場	25713.9	25,202	34,988	72%	×	
	電力使用量の削減 (kWh)	全体	12,342	12,096	6,899	175%	◎	意識向上により今年度も反映されている。今後も削減に努める。
		事務所	12341.7	12,096	6,899	175%	◎	
		現場	-	-	-	-	-	
	灯油使用量の削減 (ℓ)	全体	599	587	176	334%	◎	事務所の電気契約見直しや、事務所のOA機器の買い替えを行い、大幅に削減できた。快適に仕事ができる環境になった。
		事務所	599.4	587	176	334%	◎	
		現場	-	-	-	-	-	
	ガソリン使用量の削減 (ℓ)	全体	2,983	2,923	2,958	99%	△	エコドライブによる低燃費運転の意識付けはできているので、更に意識向上を心掛け、次年度は目標達成したい。
		事務所	745.2	730	775	94%	△	
		現場	2237.4	2,193	2,183	100%	○	
	軽油使用量の削減 (ℓ)	全体	7,535	7,385	11,598	64%	×	工事内容、天候不良などにより現場での軽油使用量が大幅に増え、しょうがないことに達成とはいかなかった。
		事務所	18.9	19	17	109%	◎	
		現場	7515.9	7,366	11,581	64%	×	
2	廃棄物総排出量の削減	事務所 (一般廃棄物)kg	127	124	100	124%	◎	工事内容にも影響されているが、毎日の選別強化、定期的なチェックを行うなど社員全員で削減に取り組み、徹底した結果だと評価する。
		現場 再資源化率 (産業廃棄物)%	90	91	96	95%	△	
3	使用水量の削減 (m ³)	事務所	218.7	214	133	161%	◎	7年目になり、全員へ周知することにより意識の変化が節水へとつながったと思われる。これからも継続したい。
4	事務所・資材場周辺の掃除	実施回数	年6回	年6回	年6回	100%	○	定期的に清掃することにより、整理整頓が習慣になり私生活においても、効果が出てきている。
5	環境に配慮した施工 (重機車両のアイドリングストップなど)	達成率	87%	89%	89%	100%	○	今回も、工事に関して苦情等なかったので継続的に3Sを心掛ける。

※判断基準：達成率100%を超える◎、100%○、90%～100%△、90%未満×

1. 購入電力の二酸化炭素排出係数は、令和4年度の九州電力の二酸化炭素実排出係数0.407kg-CO₂ / kWhを使用しました。
2. 化学物質,LPGは使用していないため目標に取り上げない。
3. 灯油は冬場のみ使用
4. 廃棄物総排出量の削減の現場においては排出量の記載でなく再資源化率である。



7. 環境経営計画及びその取組結果と評価並びに、次年度の環境経営目標及び環境経営計画

1、二酸化炭素排出量の削減

取組目標	担当	責任者	活動項目	取組結果	評価と次年度の環境経営目標及び環境経営計画
1 電気使用量の削減	事務所	藤武	エアコンの温度設定	○	目標達成ができた。今後も意識して取り組む。
			不要照明の消灯	○	
			PCの消し忘れなくす	○	
	現場	藤川	建設設備機器は無駄や無理のない運転	○	目標達成ができた。今後も意識して取り組む。
			不要時には、ブレーカーを切る。	○	
			空調の最適化	○	
2 ガソリン使用量の削減	事務所	藤武	定期的な車両整備の励行	○	工事の内容により今回は削減にまでは至らなかったが、エコドライブについては今後も継続して行う。
			効率的な運行ルートの設定	○	
3 軽油使用量の削減	現場	藤川	建設機械のエコ運転実施	○	工事の内容により今回は削減にまでは至らなかったが、エコドライブについては今後も継続して行う。
			運搬計画の見直し	○	

2、廃棄物排出量

取組目標	担当	責任者	活動項目	取組結果	評価と次年度の環境経営目標及び環境経営計画
1 一般廃棄物排出量の削減	事務所	藤武	紙使用量の削減	○	書類申請の電子化も増え削減に繋がっている。今後も個々の意識改革も継続して行っていく。
			ゴミの分別の徹底	○	
			裏紙が活用できる紙は可能な限り利用	○	
			ミスコピーを減らす	○	
2 産業廃棄物	現場	藤川	生コンクリートやアスファルト・コンクリートなどの再資源化	○	工事内容にも影響されているが、今後も社員全員で削減に取り組み、徹底する。
			ゴミの分別の徹底	○	

3、水使用量の削減

取組目標	担当	責任者	活動項目	取組結果	評価と次年度の環境経営目標及び環境経営計画
1 水使用量の削減	事務所	藤武	出しっぱなしにせず、蛇口はこまめに閉める。	○	節水ステッカー効果が得られ、節約できたのでこのまま継続して行う。
			節水ポスターの貼付	○	
			漏水点検	○	
2 水使用量の削減	現場	藤川	出しっぱなしにせず、蛇口はこまめに閉める。	○	今後もポスターなどで全体に周知し継続して行っていく。
			節水ポスターの貼付	○	
			雨水の利用	○	

5、環境に配慮した施工

取組目標	担当	責任者	活動項目	取組結果	評価と次年度の環境経営目標及び環境経営計画
1 環境に配慮した施工	現場	藤川	騒音・振動の発生を極力防止する	○	今回も、工事に関して苦情などもなかったため、次年度も現場整理整頓・清掃に気を付けて道路汚染防止を心がける。
			現場整理整頓・清掃、重機・車両使用におけるの道路汚染防止	○	
			工事現場・資材置き場周辺の住民とのコミュニケーション	○	
			ボランティア活動の積極的参加	○	

実施状況の判定 ○実施されている。 △実施されているが不十分。 ×実施されていない。 —判定できない

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟の有無

当社の事業活動における主な環境関連法規は次のとおりである。

適用される法規制等	適用される事項(施設・物質・活動等)
環境基本法	工事全般
省エネルギー法	工事全般
大気汚染防止法	工事全般
水質汚濁防止法	工事全般
下水道法	工事全般
浄化槽法	工事全般
騒音規制法	建設機械
振動規制法	建設機械
廃棄物処理法	事業系一般廃棄物、産業廃棄物
建設リサイクル法	工事全般
自然環境保護法	工事全般
フロン排出抑制法	建設機械



令和7年3月に上記の環境関連法規規制等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。また、関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟や苦情もありませんでした。

9. 代表者による全体評価と見直し・指示

令和4年より取組を開始した、SDGs(持続可能な開発目標)との関連付けを行い、全ての社員が取組内容が理解出来るように、継続した指導・教育を行った。環境経営計画については、今回見直しを行いました。天候不良が続き、工事や工期に影響した一年だった。目標達成とはならなかった目標もあり仕方がなかったが、環境経営方針、経営目標の見直しはなく継続していく。そして環境経営も考慮しつつ、熱中症対策や従業員の健康管理にも気を付けて、働きやすい環境を努めいきたい。



令和7年 4月 25日

有限会社 藤武建設
代表取締役 藤武 信介



**(有)藤武建設
工事施工事例
(令和6年4月～令和7年3月)**



安全教育訓練の様子



危険予知動画や、実際の現場でのヒヤリハットなどを報告し、毎回初心に戻り、安全対策について協議します。



令和6年度水利施設等保全高度化事業

地沈9号水路整備工事

(中間点より終点部を望む)

着工前



成工



この水路域には、スクミリンゴガイ(通称ジャンボタニシ)撲滅のためすつぽんを放流しています。

令和6年度水利施設等保全高度化事業

地沈9号水路整備工事

(中間点より始点部を望む)

着工前



成工



単農海管第9909180-007号

有明地区県単農地海岸管理工事(潮遊池浚渫工)

(終点側より起点側を望む)

着工前



成工



単農海管第9909180-007号

有明地区県単農地海岸管理工事(潮遊池浚渫工)

(起点側より終点側を望む)

着工前



成工



いろいろな取り組みを・・・

『九州を笑顔に』というボランティア団体に参加しています。



未来を見据えて、子ども達の笑顔の輪を広げていきたい！ そんな熱い想いを持ったメンバーによるボランティア団体に賛同しています。子ども達のモノづくり体験・乗り物体験を通して、子ども達の心を育てていきます。



地元商工会にも参加し、社会貢献活動をおこなっております。



白石歌垣の郷ロードレース大会のスタッフとして参加して来ました。



地域連帯の清掃活動



子供見守り隊による朝のあいさつ運動



様々な賞や認証をいただいております。



社長自ら、佐賀県警察本部様より安全管理者の表彰を受けました。
私たちも、社長を見習い日々交通安全に心掛けていきます！



佐賀のがばい健康企業宣言!!!
みんなが健康で働ける職場を提供します！



子育て応援宣言事業所として登録を行い、働き方にも変化が来ています。



女性活躍推進宣言を掲げ、女性だからこそそのメリットを仕事に生かします!!!



SDGsを念頭に未来を考えた経営をスタートしています！